

N E D Oの研究開発について

令和元年12月19日

経済産業省 産業技術環境局

N E D O事業について

- N E D Oの予算は、国立大学が法人化した平成 1 6 年度に比べ減少。
- 事業はナショナルプロジェクトが中心。企業、大学、国研への支出は、公募の結果により決まるもの。

○ 2 0 1 9 年度 N E D O 事業一覧（当初予算1,571億円）

ナショナルプロジェクト

①次世代洋上直流送電システム開発事業（2015－2019）	①7固体酸化物形燃料電池等実用化推進技術開発（2013－2019）
②再生可能エネルギーの大量導入に向けた次世代電力ネットワーク安定化技術開発（2019－2023）	①8水素利用等先導研究開発事業（2014－2022）
③高性能・高信頼性太陽光発電の発電コスト低減技術開発（2015－2019）	①9水素社会構築技術開発事業（2014－2020）
④風力発電等技術研究開発（2008－2022）	②0超高压水素インフラ本格普及技術研究開発事業（2018－2022）
⑤風力発電等導入支援事業（2013－2022）	②1未利用熱エネルギーの革新的活用技術研究開発（2015－2022）
⑥海洋エネルギー発電実証等研究開発事業（2018－2020）	②2高温超電導実用化促進技術開発（2016－2020）
⑦地熱発電技術研究開発（2013－2020）	②3次世代火力発電等技術開発（2016－2022）
⑧超臨界地熱発電技術研究開発（2018－2020）	②4クリーンコール技術開発（2016－2019）
⑨バイオマスエネルギー技術研究開発（2004－2019）	②5高効率な資源循環システムを構築するためのリサイクル技術の研究開発事業（2017－2022）
⑩バイオジェット燃料生産技術開発事業（2017－2020）	②6省エネ化・低温室効果を達成できる次世代冷媒・冷凍空調技術及び評価手法の開発（2018－2022）
⑪バイオマスエネルギーの地域自立システム化実証事業（2014－2020）	②7C C S 研究開発・実証関連事業（2018－2022）
⑫再生可能エネルギー熱利用にかかるコスト低減技術開発（2019－2023）	②8環境調和型プロセス技術の開発（2013－2022）
⑬太陽光発電システム長期安定電源化基盤技術開発（2019）	②9ロボット活用型市場化適用技術開発プロジェクト（2015－2019）
⑭先進・革新蓄電池材料評価技術開発（第2期）（2018－2022）	③0次世代人工知能・ロボット中核技術開発（2015－2023）
⑮革新型蓄電池実用化促進基盤技術開発（2016－2020）	③1次世代人工知能・ロボットの中核となるインテグレート技術開発（2018－2023）
⑯固体高分子形燃料電池利用高度化技術開発事業（2015－2019）	

ナショナルプロジェクト

- ③②人工知能技術適用によるスマート社会の実現（2018－2022）
- ③③ロボット・ドローンが活躍する省エネルギー社会の実現プロジェクト（2017－2021）
- ③④航空機用先進システム実用化プロジェクト（2015－2023）
- ③⑤戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期「自動運転（システムとサービスの拡張）（2018－2022）」
- ③⑥戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期／ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術（2018－2022）
- ③⑦低炭素社会を実現する次世代パワーエレクトロニクスプロジェクト（2009－2019）
- ③⑧超低消費電力型光エレクトロニクス実装システム技術開発（2013－2021）
- ③⑨高効率・高速処理を可能とするAIチップ・次世代コンピューティングの技術開発（2016－2027）
- ④⑩A I チップ開発加速のためのイノベーション推進事業（2018－2022）
- ④⑪高輝度・高効率次世代レーザー技術開発（2016－2020）
- ④⑫戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）／重要インフラ等におけるサイバーセキュリティの確保（2015－2019）
- ④⑬Connected Industries推進のための協調領域データ共有・AIシステム開発促進事業（2019－2021）
- ④⑭積層造形部品開発の効率化のための基盤技術開発事業（2019－2023）

- ④⑮戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期／フィジカル領域デジタルデータ処理基盤技術（2018－2022）
- ④⑯戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期／IoT社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ（2018－2022）
- ④⑰革新的新構造材料等研究開発（2014－2022）
- ④⑱次世代構造部材創製・加工技術開発（2015－2019）
- ④⑲次世代自動車向け高効率モーター用磁性材料技術開発（2014－2021）
- ⑤⑩超先端材料超高速開発基盤技術プロジェクト（2016－2021）
- ⑤⑪省エネ製品開発の加速化に向けた複合計測分析システム研究開発事業（2018-2022）
- ⑤⑫非可食性植物由来化学品製造プロセス技術開発（2013－2019）
- ⑤⑬二酸化炭素原料化基幹化学品製造プロセス技術開発(2014－2021)
- ⑤⑭有機ケイ素機能性化学品製造プロセス技術開発(2014－2021)
- ⑤⑮植物等の生物を用いた高機能品生産技術の開発（2016－2020）
- ⑤⑯IoT社会実現のための超微小量センシング技術開発（2019－2023）
- ⑤⑰機能性化学品の連続精密生産プロセス技術の開発（2019－2025）

特定公募型研究開発

ムーンショット型研究開発事業（2018－）

テーマ別公募型事業

- ①戦略的省エネルギー技術革新プログラム（2012－2021）
- ②NEDO先導研究プログラム（2014－2023）
- ③課題解決型福祉用具実用化開発支援事業（1993－）
- ④新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業（2007－）
- ⑤研究開発型ベンチャー支援事業（2014－2019）
- ⑥宇宙産業技術情報基盤整備研究開発事業（ベンチャー企業等による宇宙用部品・コンポーネント開発助成）（2018－2021）

国際実証・国際共同事業

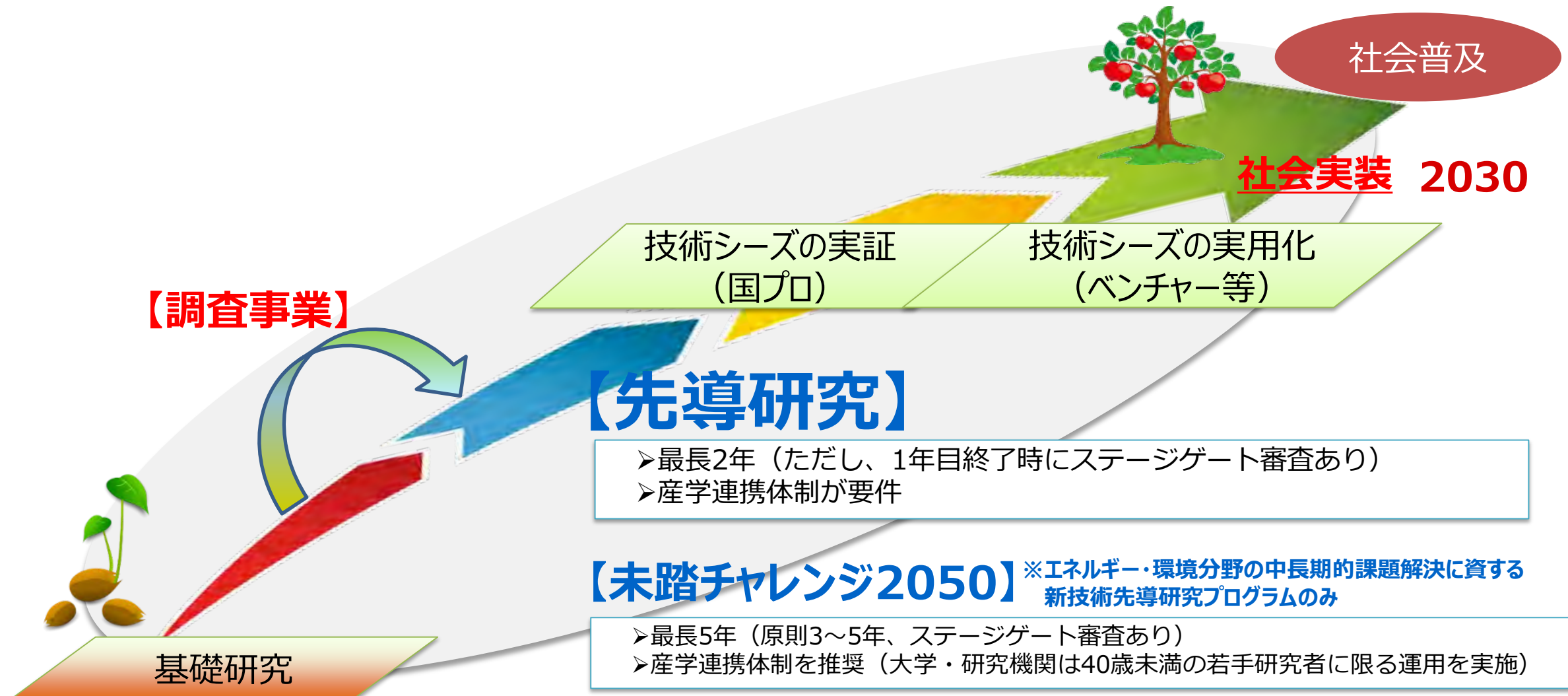
- ①エネルギー消費の効率化等に資する我が国技術の国際実証事業（1993－2020）
- ②民間主導による低炭素技術普及促進事業（2011－2022）
- ③アジア省エネルギー型資源循環制度導入実証事業（2016－2020）
- ④先進的な火力発電技術等の海外展開推進事業（2017－2021）
- ⑤国際研究開発／コファンド事業（2014－2020）

調査事業

戦略策定調査事業（2000－）

テーマ別公募型事業（例 1：先導研究プログラム）

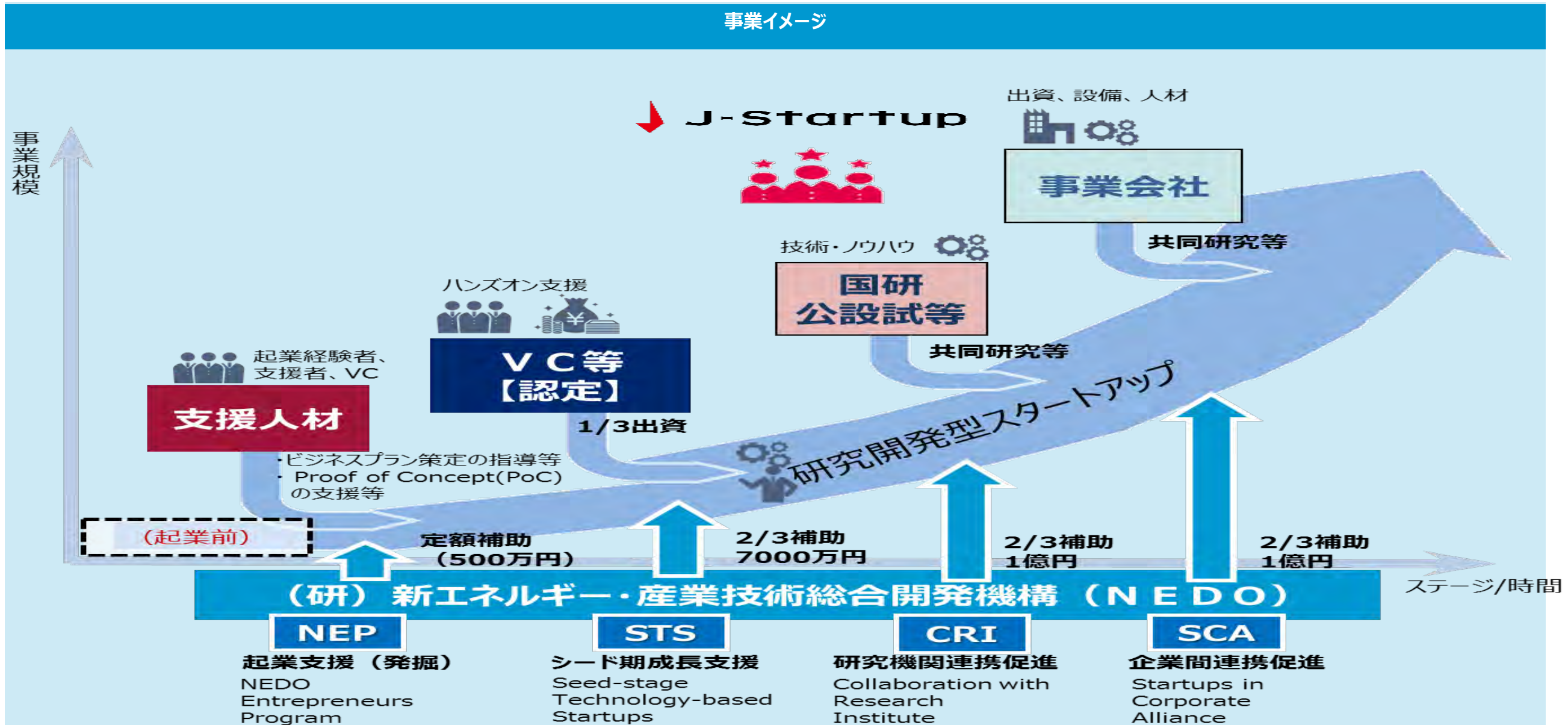
- 新産業創出や温室効果ガスの抜本的削減のためには、既存技術の延長だけでなく、ハイリスクだが革新的かつ社会インパクトの大きい有望な技術の原石の発掘・育成が必要不可欠。
- このため、原則2030年以降の実用化を見据えた革新的な技術・システムの先導研究を実施し、有望な技術の原石を国家プロジェクト等へ繋げていくことを目指す。



テーマ別公募型事業（例２：研究開発型スタートアップ支援事業）

- Society5.0の実現に向け、イノベーションの担い手であるスタートアップ企業は重要な存在。
- 研究開発型スタートアップをシーズに近いところから出口を志向して支援。

研究開発型スタートアップ支援事業



- ・ NEDOが、シード期の研究開発型スタートアップを支援するベンチャーキャピタルを公募し、認定する(認定VC)。
- ・ 認定VCから出資を受ける研究開発型スタートアップの中から、技術面及び事業面で先進的な者を選定の上、以下の支援を実施する。
 - 専門家、認定VCによる事業化のための助言
 - 実用化開発費、共同研究費等の補助
 - 上記支援を効果的に普及・活用する場の提供 等

※「J-Startup」とは、グローバルで活躍できるスタートアップ企業を官民により集中支援する取り組みです。

官民による若手研究者発掘支援事業（新たな取組）

- 技術革新のスピードが加速化し、また、コアビジネスに加え新事業領域の開拓が強く求められる中、外部のリソースの活用が不可欠。そのため、根底となる研究力向上のために、これまでリーチできていない大学の若手研究者及び研究シーズを発掘し、早期・着実に育成を図ることは、1つの解決策。
- このため、官民が協調して大学等の有望な若手研究者・シーズ研究を発掘し、これを企業の研究開発や事業活動に早期に結びつけるエコシステムを構築し、将来の国力向上につなげる。

